

ふるさと南あわじ応援寄附金

昨年53人の人たちより、ふると南あわじ応援寄附金として、678万1千円もの寄附金が寄せられました。昨年、ご寄附いただいた人たちの氏名等を公表させていただきます。

〔順不同、敬称略、公表承諾者のみ〕

〔南あわじ市〕 秦 孝一、大森 弘之、鈴木俊示、正井良徳

〔洲本市〕 高田育明

〔神戸市〕 印部文夫

〔姫路市〕 名定 節、馬部一清

〔明石市〕 中西二郎

〔加古川市〕 安田哲哉

〔県外〕 ▽奈良県 ▽松谷 武、久堀裕朗 ▽大阪府 ▽豊竹松香大夫、藤平昇 ▽徳島県 ▽川中 崇

〔氏名のみ公表〕 竹内重人、みどり竹炭倶楽部、太田幸司、浜崎祐司、小野良夫、内田 郁、黒田晃生、黒田紀子、黒田智士、黒田昌志、三木谷浩史、東 真大

〔匿名希望者〕 南あわじ市在住、神戸市在住、静岡県在住

ふるさと南あわじ応援寄附金

| 寄附状況の公表 (12月31日現在) | | 金額 |
|--------------------|------|--------------|
| 区分 | 件数 | |
| 南あわじ市内 | 443件 | 63,012,749円 |
| 市外(島内) | 62件 | 12,373,000円 |
| 市外(島外) | 307件 | 35,079,940円 |
| 合計 | 812件 | 110,465,689円 |

詳細は市のホームページに掲載しています

南あわじ市へご寄附いただき、誠にありがとうございます。

第2回米粉料理コンテストを開催



▲米粉料理コンテスト受賞者らと審査員

市内産の米粉の認知度向上と需要拡大を図るため、2回目となる「南あわじ米粉料理コンテスト」を開催。一次審査(書類審査)を通過した料理部門3作品、菓子部門4作品が、11月30日、二次審査(実食審査)に臨みました。

最高金賞を受賞した高岡さんは「野菜嫌いの子どもに野菜を食べさせようとの思いで作品を考えた」、また福岡さんは「家にあつた米粉でドレーやきを作ってみると美味しかった。それから配合量等を試行錯誤して完成させた」とそれぞれ話してくれました。

※受賞者は次のとおりです

〔料理部門〕(順不同、敬称略)

◆最高金賞 高岡 恵里(松帆)

作品名「レンジで簡単!!玉ねぎたっぷり牛すじピロシキ」

◆金賞 池田 圭佑(吉備国際大)、日種 直美(吉備国際大)

〔菓子部門〕(順不同、敬称略)

◆最高金賞 福岡 恵美(潮美台)

作品名「ミニドレーやき」

◆金賞 平山 昌孝(加東市)、田中 節子(榎列)、登里 倭江(津井)

ASA絵画コンクール表彰式



▲絵画コンクール南あわじ市入賞者

徳島県鳴門市(AWA)と香川県東かがわ市(SANUKI)と淡路島南あわじ市(AWAJ)の3地域が県境を越えて交流を深めようと平成2年に設立されたASAトライアングル交流圏推進協議会。毎年、同協議会では交流事業の一環として「我がまちの自慢」をテーマとした絵画コンクールを開催。小学3、4年生を対象に作品を募集しています。

同コンクール入賞者への表彰式が11月16日、淡路ファームパークイングランドの丘で市内受賞者とその家族が集まり行われました。

今回の作品を審査した鈴木久人氏(鳴門教育大学大学院教授)は「大鳴門橋の姿を威風

堂々と表現してくれた作品や色彩対比を前面に出した赤い大鳥居の美しさを表現してくれた作品群、モザイク画を思わせる緻密な貼り絵で人形淨瑠璃の人の形の重厚さを伝える作品など、子どもたちの南あわじ市に対する愛情が強く伝わるものばかりでした」と総評しました。

※受賞者は次のとおりです

順不同、敬称略

◆南あわじ市長賞 西川 颯人(松帆小)

◆南あわじ市商工会長賞 喜住 梨那(福良小)

◆一般社団法人淡路青年会議所理事長賞 四位 幸菜(倭文小)

◆優秀賞

進藤 彩花(松帆小)

入江 優衣(辰美小)

奥野 晴麻(西淡志知小)

前平 華(西淡志知小)

天野 更咲(榎列小)

松本 晃征(市小)

川崎妃弥佳(市小)

荒瀬 衣織(市小)

小林 麻弥(広田小)

阿部 侑也(広田小)

竹内 夕月(広田小)

横山 莉子(広田小)

淡路島・南海島サッカー交流(11月22〜24日)



▲サッカーで交流を深めた島内と韓国南海郡の中学生

平成21年度に始まった淡路島3市の中学生と韓国慶尚南道南海郡の中学生とのサッカー交流は今年で6度目になります。

隔年相互派遣により今年には派遣の年であり、訪問2日目に南海郡の尚州体育公園において2試合の親善試合が行われました。淡路島対南海島で行われた試合結果は、それぞれ第1試合が0対0、第2試合が1対3でした。会場は友好的な雰囲気、スタンドからの声援を受けて両チームの選手たちはピッチの上で精一杯プレーしました。

サッカー以外でも、初日に

市税の納付Q&A

- Q. 親の口座から子どもの税金、夫の口座から妻の税金を引き落とすことはできますか?
- A. 可能です。口座振替依頼書には、「口座名義人」と「納税義務者」の2つの欄があります。親の口座から子どもの税金を引き落とす場合、「口座名義人」欄に親、「納税義務者」欄に子どもの名前をご記入下さい。夫婦間も同様です。
- Q. 口座振替ができなかった場合、再振替はできますか?
- A. 再振替はいたしておりません。何らかの事情で口座振替ができなかった場合、口座振替不能通知書が郵送されますので、指定日までに納付してください。
- Q. 市税の口座振替できる税目は?
- A. 市県民税(普通徴収分)、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税(普通徴収分)について、口座振替により納めることができます。

■ 納税課 ☎43-5022、収税課 ☎43-5034

今月の納税

国民健康保険税……………【8期】

納期限 **3月2日(月)**

《納期限内に忘れず納付しましょう》

◆便利な口座振替をご利用ください!

—口座振替のメリット—

- 安心…お金を持ち歩く必要がないので安心です。
- 便利…納期ごとに金融機関や市役所の窓口等に行く必要がなく便利です。
- 確実…指定口座から自動的に払い込まれるので、納め忘れがなく確実です。

★申し込み手続きは、とても簡単!

口座振替の依頼書は、市役所各窓口及び市内の各金融機関にありますので、預貯金通帳と届出印を持参の上、手続きをしてください。

ホームページ懐かしの写真館が充実



▲淡路に電車が走っていた時の写真(昭和30年終わり頃)場所は市村駅(現在の淡路三原郵便局あたり)

市のホームページの特設コーナー「懐かしの淡路島写真館」に、写真家の野水正朔さん(市在住、二科会写真部会員)から提供を受けた写真64枚を新たに追加し、全262枚を解説付きで掲載しています。

この特設ページは、野水さんが昭和20年代から撮りためた写真の中から、歴史的に価値のある写真を掲載しているもので、かつての八木の並松や大橋開通前の鳴門海峡、瀬戸貝採りの風景、瓦を焼く達磨窯集団就職の情景、野掛け人形芝居なども紹介しています。ぜひご覧ください。